



筑紫女学園大学リポジット

An Aspect of Accepting Stories of Chinese Classics during the Late Tokugawa shogunate and the Meiji Era: Focusing on “The Imperial Lineage” in the Annotated Series “Mougyu

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 桐島, 薫子, KIRISHIMA, Kaoruko メールアドレス: 所属:
URL	https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/1163

幕末・明治期における中国故事受容の一側面(1)

—『蒙求』注釈本の「帝王世系」を中心に—

桐 島 薫 子

An Aspect of Accepting Stories of Chinese Classics during the Late Tokugawa shogunate and the Meiji Era: Focusing on “The Imperial Lineage” in the Annotated Series “Mougyu”

Kaoruko KIRISHIMA

はじめに

『蒙求』の注釈本『標題徐状元補注蒙求校本』(以下「標疏本」と略記)巻上の巻頭には、「帝王世系」(本稿図1)と「地図」が付されている。¹⁾『蒙求』は、唐の李瀚が、伝説時代から南北朝の人物の逸話を四文字の「標題」五九六句で表し(内容による二句一对、八句換韻)、自注を付けた、幼学用の故事集であった。南宋の徐子光の補注(本稿では「徐注」と称す)が李瀚自注に代わってからは、『蒙求』は歴史を学ぶ読みものとしても流布した。江戸時代には、岡白駒が徐注に箋注を加えて刊行した。その第四刻として安政五年(一八五八年)に、佐々木向陽の標疏と「帝王世系」「地図」を加えた標疏本が刊行され、

同書は幕末・明治期に大流行した。佐々木向陽(諱玷・通称並枝)は宇部領主福原氏の郷学「善我堂」の学頭で、経書の傍ら歴史を教授し、福原越後の命で浅見綱斎の『靖献遺言』も講じた。養子佐々木松墩は吉田松陰に学び、養父の跡を継いで学頭となった。²⁾一九四二年十月十五日「大字部」の記事「佐々木先生標疏蒙求三卷」には、「宇部の旧家にはどの家にも必ずこの一本を蔵されてゐること、思ふ。」とある。

早川光三郎『新釈漢文大系58 蒙求(上)』には、「標題は時代順でなく、内容も史実として必知枢要のものが盛られているわけではなく、今日の歴史という概念には程遠いものではあるが、古人の言行事跡が正史を主にして抄出されている点、やはり一種の史書である。これが徐注本になると、その注はより多く正史に依拠し、人物の伝記を

ダイジェスト式に摘採し、叢伝という体裁にしたのにも見られる。その序をみると彼の意図もそこにあるように感じられるのである。故に、その徐注に箋注を施した岡箋注本に至っては、後にその歴史性を補う意味で、帝王世系や付図までも挿入する標疏本に発展して、益々その感を深くしている。」とある。³⁾『隋書』「経籍志」史部に「地理」「譜系」があるように、地理・地図や天子などの譜系は、歴史を理解する上で重要な要素であった。⁴⁾標疏本はこれらを、巻頭に組み入れていた。それでは、①漢籍注釈本の巻頭に、時の流れを表した世系・譜系などの系図と歴史の空間を表した地図を掲載するという体裁は、他にどのような事例があり、それらと比べて、標疏本にはどのような特徴があったのだろうか。また、②標疏本の「帝王世系」「地図」と、標題・徐注・箋注・標疏との関係性はどのようなものであり、「帝王世系」や「地図」によって、標疏本の「歴史性」はどのように補われたのだろうか。

本研究は①②の疑問を解明することで、標疏本を用いた漢学教育の実践例を示し、幕末・明治期の中国故事受容の側面を明らかにすることを目的とする。研究方法は、標疏本「蒙求標疏例言」に「帝王世系」と「地図」への言及がなかったため、⁵⁾①は日中の事例を調べ、②は「帝王世系」および「地図」と標題・徐注・箋注・標疏の記載の比較・検討を試みた。今回はそれらの内、①と、②の「帝王世系」の調査結果を述べる。②の「地図」については、紙面の都合上、稿を改めて述べたい。

一 漢籍における年表類・地図類掲載の体裁と事例

漢籍（和刻本を含む）における年表類と地図類の掲載例には、管見するところ主に二つの体裁があった。一つ目は「1、年表類や地図類のみをまとめた体裁」で、その種類は大まかに、（1）年表類のみ・（2）地図類のみ・（3）年表類と地図類があった。二つ目は「2、漢籍注釈本の巻頭に年表類と地図類を掲載する体裁」である。なお、この体裁で地図類のみを掲載する例については、稿を改めて述べる。

年表類の形式には、①断代史的形式や特定の時代に区切った形式の、国号や帝王などの系図（系譜の図示）、②通史的形式の国号や帝王の系図、③国号・帝王・姓・名・王数・在位・国の統治年数などの記載（項目は年表で異なる）、他に①または②に③が加わるものがあった。

「1」（1）年表類のみの例には、③の項目記載の形式の、宋代の諸葛深『歴代帝王紹運図』があり、日本の中世に中国の歴史を知る参考書として多用された。⁶⁾日本には、寛政八年（一七九六）の序を付す浅野高蔵『和漢年契』がある。⁵⁾同書は、歴代天皇の「大日本国帝王系図」と、盤古氏から清までを②の通史的形式で示した「漢土歴代帝王図」（本稿図Ⅱ）を掲載し、その後、日中の③の関連項目を記す。

「1」（2）地図類のみの例には、『歴代地理指掌図』があり、三皇から宋に関する地図四十四種を収める。地図の説明に年表の形式①や③の項目を含むものがあり、藤原頼長『台記』の仁平元年（一一五一）

の条には「東坡先生指掌図」として記されている。⁹⁾ 日本には長久保赤水（一七一七〜一八〇一年）『唐土歴代州郡沿革地図』がある。

「1」（3）の年表類と地図類両方を掲載した例には、南宋末から元にかけて成立した百科事典の『事林広記』や明の王光魯『閩史約書』がある。『閩史約書』については、日本に、見返しに「京都松本氏家塾定本」「歴代地理図 僭偽譜系附」、序末に「寛政開元秋日 京師松本慎題」と記す天保十年（一八三九）の須原屋伊八・伊丹屋善兵衛版がある。¹⁰⁾ 同書には、「西周以上地図」から「南宋元地図」までの十七種の地図と、①の形式の系図に③の項目を記載した「西漢反王譜系」から「宋太祖太宗継統譜系」までの十種の譜系を載せる。

「2」の漢籍注釈本の巻頭に年表類と地図類を掲載する体裁例には、明の凌稚隆輯校・李光縉増補『史記評林』がある。江戸時代には同書の和刻本が大変流行した。¹¹⁾ 水沢利忠『史記会注考証校補（九）』には、『史記評林』所載の三皇五帝・夏・商・周・秦・漢世系譜や五帝・夏・商・周・秦・六国・漢国都地図は、凌稚隆が初めて記載したとある。¹²⁾ 『史記評林』の凡例によれば、譜系と地図の由来は、南宋の呂祖謙『十七史詳節』に求められる。¹³⁾ また、元刊本の歴史書にも「巻頭に読みながら随時参照できるように歴代帝王の系譜、在位年数の表のほか地図が付されること」が多かったという。¹⁴⁾ 『蒙求』標疏本の「帝王世系」については、体裁は「2」に属し、三皇から清までを②の通史的形式の系図で示し、そこに③の項目を簡潔に記載する、というものであった。

二 『蒙求』標疏本「帝王世系」と標題・徐注・箋注・標疏との関係性

本研究では、標疏本「帝王世系」と標題・徐注・箋注・標疏にどのような関連があるかを調査した。その結果が本稿の図Ⅲで、標題・徐注・箋注・標疏の多くに「帝王世系」と関係する記載があった。特に、324「孫鍾設瓜」、345「王儉墜車」、429「田子儉素」、565「苻朗皂白」、591「鮑照篇翰」の標疏においては、「見世系」「世系所載」のように「帝王世系」の閲覧を促しており、直接的な関係性が確認できた。

三 標疏本「帝王世系」の特徴(こいつ)

標疏本「帝王世系」には、**三皇**などの括り・国号・姓・帝王(諡号・廟号・代数)・名・王数・国の統治年数などが記されている。ここではその特徴について、『歴代帝王紹運図』『閩史約書』『史記評林』和漢年契¹⁵⁾や、元禄三年（一六九〇）刊毛利貞斎『故事俚諺絵鈔』巻頭の帝王一覧表(項目記載形式)などと比較し、次の方針で述べる。

① **三皇**などの括りや□・○が付いた国号はそのままとし、それ以外の記載には傍線を付し、小字双行にはへを付し記す。

② 帝王が「成王 康王」のような表記の場合は空欄部分を「・」で表し、「李雄―班」のような表記の場合はそのままとする。

三皇に、伏羲(風姓)・女媧(伏羲妹)・神農(姜姓)・黄帝(公孫

姓」とある。女媧は右にずらしている。〔五帝〕は、少昊〔巳姓〕・顓頊〔姬姓〕・帝嚳〔姬姓〕・〔圉〕堯帝〔伊耆氏〕・〔虞〕舜帝〔姚姓〕とある。標題49「女媧補天」箋注に伏犧や顓頊がでてくる。三皇五帝の立て方は諸説ある。例えば、司馬遷は黄帝・顓頊・高辛・堯・舜を五帝として『史記』本紀を著した。漢の孔安国は『尚書』序に伏犧・神農・黄帝を三皇、少昊・顓頊・高辛・堯・舜を五帝と称した。後漢の鄭康成は、伏犧・女媧・神農を三皇、帝鴻・金天・高陽・高辛・唐虞を五帝と称した。唐の司馬貞は鄭説を支持し『史記』三皇本紀を補った。¹⁶⁾

〔三代〕は、まず、〔夏〕禹王〔姒姓至桀王十七君四百五十八歳〕、〔殷〕湯王〔子姓至紂王廿八君六百四十四祀〕とある。次に〔圉〕では〔姬姓王季〕〔大公文王〕とあり、〔文王〕の下に小字で〔昌〕とある。王季については、『歷代帝王紹運図』の周文王の説明に「王季之子」のように出てくる。その後、〔固〕は、武王〔発〕・成王・康王・昭王・穆王・共王・懿王・孝王・夷王・厲王・共和・宣王・幽王とある。共和は厲王の失政により召公と周公が摂政をした時期で、『故事俚諺絵鈔』も記す。〔東周〕では、まず、平王・桓王とあり、〔春秋列国〕魯・衛・鄭・晋・斉・滕および改行した曹・許・燕・秦・楚・蔡および改行した宋・杞・陳・薛・呉・越を挟んで、莊王・僖王・惠王・襄王・頃王・匡王・定王・簡王・靈王・景王・敬王・元王・貞定王・考王・威烈王と続く。次に、〔戦国〕斉・楚・燕・韓および改行した魏・趙・秦を挟んで、安王・烈王・顯王・慎靓王・赧王・恵王〔八百七十二年〕とある。〔秦〕では、始皇〔呂政〕・二世・三世〔十五年〕とある。始皇帝の姓は嬴とされるが、呂不韋に関連して呂ともされる。例えば、『史記』

「秦始皇本紀」末に編された、班固が後漢明帝に奉った文に「呂政殘虐」とあり、『史記索隱』に「呂政者、始皇名政、是呂不韋幸姫有娠、獻^三莊襄王而生^三始皇、故云^三呂政。」とある。¹⁸⁾『和漢年契』「始皇帝」の説明にも「秦姓嬴氏、(中略)始皇名政、実姓呂氏」とある。

〔前漢〕では、高祖〔劉邦〕・恵帝・呂后・文帝・景帝・武帝・昭帝・宣帝・元帝・成帝・哀帝・平帝・孺子嬰〔二百三十年〕とある。次に〔新〕〔王莽篡立〕とある。新が○で囲んであることについて説明はないが、『和漢年契』「漢土歴代帝王図」に「方 正統、円 僭号」とある。僭号は臣下が身分を弁えず勝手に王の称号を使うことを意味する。

〔後漢〕では、光武帝〔劉秀〕とあり、右上に小字で世祖と記す。次に、明帝は顯宗を、章帝は肅宗を小字で右上に記し続く。その後、和帝・殤帝・安帝・順帝・冲帝・質帝・桓帝・靈帝・献帝〔百九十六年〕とある。これらの記載と関連して、標題21「武仲不休」の徐注「肅宗」「明帝」「顯宗」の標疏に「明帝、肅宗之父」「顯宗、即明帝」、標題23「桓譚非讖」の徐注「世祖」の標疏に「世祖、光武帝」、標題49「張堪折轅」の徐注「世祖」の標疏に「世祖、光武」とある。

〔三国〕では、まず、〔蜀〕先主昭烈帝〔劉備〕・後主〔禪〕〔四十三年〕とあり、改行して〔魏〕太祖武帝〔曹操〕・文帝〔丕〕・明帝・斉王・高貴郷公・元帝〔四十六年〕、改行して〔呉〕武烈帝〔孫堅〕・桓王〔策〕・大帝〔権〕・会稽王・景帝・烏程公〔皓〕〔五十九年〕とある。『和漢年契』「漢土歴代帝王図」は蜀漢と記し正統を表す□で囲んでいる。標疏本「帝王世系」に説明はないが、同じ意図であれば蜀を正統とすることになる。標題114「秦宓論天」の徐注には蜀について「天子姓劉」

とあり、その標疏には「鼎峙之時各以_二其主_一為_二正統_一、故為_三頭在_二西蜀_一而下又曰天子姓劉」とある。また、標題137「鑿齒尺牘」の徐注には、桓温が帝位を望んだため、鑿齒が『漢晋春秋』を著して裁正（正邪の名分を明らかに）したとあり、その標疏には「裁_二正温不臣之心_一、傲_三孔子春秋乱臣賊子懼之微意_一」とある。西晋の陳寿『三国志』は魏を正統としたが、東晋の習鑿齒『漢晋春秋』は蜀を正統とした。

〔西晋〕では、まず、宣帝〔司馬懿〕・文帝〔昭〕を小文字で並べ、続いて、小文字で景帝〔師〕と記す。その後、武帝〔炎〕・惠帝・懷帝・愍帝〔五十二年〕とある。司馬懿・昭については、標題51「晋宣狼顧」の徐注「三馬同食一槽」の箋注に「三馬、象_二司馬懿・師・昭_一、槽曹声同、食_二槽_一、食_二曹氏_一之象」とある。

〔五胡僭乱〕では、〔蜀漢〕李雄一斑一期一勢、改行して〔前涼〕張軌、改行して〔前燕〕慕容廆、改行して〔前趙〕劉淵とある。李勢は標題120「南康猶憐」の徐注「温平蜀、以李勢妹為妾」の標疏に「五世至_二李勢_一驕淫、永和三年桓温師_レ師伐_レ之」とある。国号を蜀漢とするのは、他に『閩史約書』「晋五胡十六国廢興譜系」がある。李雄は大成、李寿は漢と称した。合わせて成漢とも称される。¹⁹⁾その後、〔東晋〕元帝〔睿〕・明帝・成帝・康帝・穆帝・廢帝・簡文帝・孝武帝・安帝・恭帝〔百三年〕を挟んで、〔五胡僭乱〕〔前秦〕〔符洪一健一生一堅〕、〔後秦〕〔姚萇〕、〔西秦〕〔伏乞国仁〕、改行して〔後涼〕〔呂光〕、〔南涼〕〔秃髮烏孤〕、〔北涼〕〔段業〕、〔西涼〕〔李暠〕、改行して〔後燕〕〔慕容垂〕、〔南燕〕〔慕容冲〕、〔南燕〕〔慕容徳〕、〔北燕〕〔慕容盛〕、改行して〔後趙〕〔石勒〕、〔大夏〕〔赫連勃勃〕、〔北魏〕道武帝〔拓跋珪、詰汾之後〕—明元、〔北朝〕を付した太

武に続き、文成—献文—孝文〔改拓跋為元氏〕—宣武—孝明—孝莊—帝曄—節閔とある。〔南燕〕〔慕容冲〕は、『閩史約書』「晋五胡十六国廢興譜系」や『晋書』「載記序」には西燕の慕容冲とある。²⁰⁾標疏本の誤記か。〔拓跋珪、詰汾之後〕は、標題91「詰汾興魏」の徐注「北史魏聖武皇帝、諱詰汾」の標疏に「東晋安帝隆安二年、魏主拓跋珪始即_二帝位_一」とある。この後、「帝王世系」右側に〔東魏〕孝静〔元善見〕—〔北齐〕文宣〔高洋〕—孝昭—武成—後主、左側に〔西魏〕孝武〔元脩〕—文帝—帝欽—恭帝—〔周〕孝閔〔宇文覺〕—明帝—武帝—宣帝—静帝と続く。

〔南朝〕は、〔宋〕武帝〔劉裕〕・少帝・文帝・孝武帝・廢帝・明帝・帝昱・順帝〔五十九年〕、〔齊〕高帝〔蕭道成〕・武帝・明帝・東昏侯・和帝〔二十三年〕、〔梁〕武帝〔蕭衍〕・簡文帝・元帝・敬帝〔五十六年〕、〔陳〕武帝〔陳霸先〕・文帝・臨海王・宣帝・後主〔三十二年〕とある。『故事俚諺絵鈔』の記載は齊の和帝までで終わり、「此ヨリ下ノ歷代ノ帝譜、此書ノ故事ニ預ルコトナシ。故ニ之ヲ略ス。」と記す。

〔南北一統〕には、〔隋〕文帝〔楊堅〕・煬帝・恭帝〔三十七年〕、〔唐〕〔二百八十九年〕、〔梁〕〔十七年〕、〔唐〕〔十四年〕、〔置〕〔十二年〕、〔讓〕〔四年〕、〔圖〕〔十年〕、〔因〕〔三百二十年〕、〔元〕〔八十八年〕、〔明〕〔二百七十七年〕、〔瀆〕とある。標題247「王喬双屨」徐注「寢其中」の標疏には、「西上棺自_レ古至今清朝皆臥棺、不下_二本朝坐棺_一同上、故曰_二寢其中_一」のように、清と本朝の棺を比較して説明する記載もある。

おわりに

漢籍注釈本の巻頭に、時の流れを示す世系・譜系や歴史空間を示す地図を掲載する体裁の例には、南宋の呂祖謙『十七史詳節』に由来する明の凌稚隆輯校・李光縉増補『史記評林』があった。『史記評林』の和刻本は、江戸時代に非常に流行していることから、この体裁は、当時の漢学の教授者・学習者にとって、馴染みのあるものであったと考えられる。

そうした中、標疏本「帝王世系」は、(1)三皇から清までの国号や帝王を通史形式の系図で示し、姓・名・王数・国の統治年数などを記し、(2)国号には『和漢年契』『漢土歴代帝王図』のような正統□・僭号○を付し、(3)『閩史約書』など先行の年表類との類似点もあり、(4)標題・徐注・箋注・標疏と密接に関係している、といった特徴があった。

また、標題とその徐注は、そもそも時系列には並んでいないが、「はじめに」で言及した標疏本「蒙求標疏例言」においては、「129梁竦廟食」の徐注「追封褒親愍侯」と「14梁冀跋扈」の徐注「褒親愍侯竦之曾孫」との間に、世系的脈絡があることを指摘している。このように、徐注間の脈絡を把握して、標題の故事を歴史の時間軸上に再構築して理解する際にも、「帝王世系」は有効であったと考えられる。

注

- 1 書名は巻頭による。全三巻。上巻に「薦蒙求表」饒州刺史李良上表・李華序・子光序・「帝王世系」「地図」「蒙求箋註例引」岡白駒識・「蒙求標疏例言」佐々木祐識があり、各巻末には「官職考略」がある。発行書林は、江戸の須原屋茂兵衛他・京の風月庄左衛門他・大阪の藤屋善七他である。本稿は上記を底本とした。なお、本稿に引用する原文・先行研究の漢字は、原則として通行字体に統一した。原文と書き下し文が混ざるものは、書き下し文に統一した。原文の一部には、返り点を付した。
- 2 『日本教育史資料』参(富山房、一九〇三年再版)四七〇頁、拙論「佐々木向陽『標疏箋注蒙求校本』に関する一考察」(『筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要』九、二〇一四年)、一九六八年二月七日「防長新聞」。
- 3 明治書院、一九七七年四版、三六頁。
- 4 興膳宏・川合康三『隋書経籍志詳攷』(汲古書院、一九九五年)四一六～四五六頁。
- 5 注2の拙論。
- 6 ここでは世系・譜系・時代順の項目記載を説明の便宜上、「年表類」と称す。
- 7 『歴代帝王紹運図』(室町刊、国立国会図書館デジタルコレクション、<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2532116>)。同HP「書誌の解題・抄録」には、同書について「三皇五帝から南宋末恭宗までの年表で、宋の諸葛深撰、後人補。書名は序首による。」とある。日本での受容は、清水信子「東洋文庫蔵『老子道德経』河上公注鈔本に見える書き入れについて」(『二松』十五、二〇〇一年)二五一～二五二頁参照。
- 8 近藤春雄『日本漢文学大事典』(明治書院、一九八五年)七三七頁。
- 9 『宋本歴代地理指掌図』(上海古籍出版社、一九八九年)。日本での受

- 容は、吉井和夫「日本における蘇東坡受容の揺籃期(上)」(『西山学苑研究紀要』十五、二〇二〇年)四〜十四頁参照。
- 10 『事林広記』(東京大学文学部宗教学研究室所蔵、国文学研究資料館、http://base1.nijl.ac.jp/view/Frame.jsp?DB_ID=G0003917KTM&C_CODE=0357011902)。『事林広記』については、宮紀子「地図は語る モンゴル帝国が生んだ世界図」(日本経済新聞出版社、二〇〇七年)一六〇〜一六一頁参照。『閩史約書』(国立公文書館デジタルアーカイブ、<https://www.digital.archives.go.jp/>)。
- 11 水沢利忠『新釈漢文大系88 史記八』(明治書院、一九九一年)一二頁。
- 12 史記会注考証校補刊行会、一九七〇年、一七七頁。
- 13 戸川芳郎『「史記評林」の版刻について』(『二松』十、一九九六年)一五二頁。凡例には「茲刻於『帝王侯世系図、歴代併地理図、皆繪于前、一如『呂東萊十七史詳節例』』とある(凌稚隆輯校、李光縉増補、帰有光評点、方苞増評、石川鴻斎等校『史記評林』一三〇巻首一卷、早稲田大学古典籍総合データベース、<https://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/>)。
- 14 注10の『モンゴル帝国が生んだ世界図』一五三頁。
- 15 題簽書名『蒙求俚諺補闕鈔』(早稲田大学古典籍総合データベース、https://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/html/bunko31/bunko31_e1926/index.html)。
- 16 吉田賢抗『新釈漢文大系38 史記一』(明治書院、一九八四年十四版)二七頁。
- 17 王数・統治年数は、例えば、禹、桀王が「十七君四百五十八年」なのは日本の中世に流布した『拾芥抄』(国立国会図書館デジタルコレクション、<https://dl.ndl.go.jp/infondjp/pid/2543897>)や『故事俚諺絵鈔』。『歴代帝王紹運図』では「十七主合四百三十二年」。陳仁錫評閲『資治通鑑綱目前編』(国立国会図書館デジタルコレクション、<https://dl.ndl.go.jp/infondjp/pid/11038921>)巻之四「夏」には「按邵子皇極經世書
- 起禹丁巳止桀甲午、通計四百五十八年、蓋自禹撰政之年通數之耳」とある。湯王、紂王が「二十八主六百四十四年」なのは『拾芥抄』『和漢年契』。『故事俚諺絵鈔』では「二十八主合六百二十九年」。『資治通鑑綱目前編』巻之六「商」には「自成湯十有八祀乙未代夏有天下、至紂三十有二祀戊寅、凡二十有八主、共六百四十有四年」とある。
- 18 注16の同書、四一五〜四一六頁、注13『史記評林』「秦始皇本紀」。
- 19 三崎良章『五胡十六国 中国史上の民族大移動』(五胡十六国時代前期)「成漢」(東方書店、二〇二一年)五三〜五六頁。
- 20 『和刻本正史 晋書』(古典研究会、一九八二年第三刷)一二八七頁。

(きりしま かおる) … 日本語・日本文学科 教授

図Ⅲ 標疏本「帝王世系」と標題・徐注・箋注・標疏に関する一覧表

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
凡例				
1) 標題・徐注・箋注・標疏は、主に帝王に関する記述について、原文のみを、原則通行の字体で記した。標題のNoは、早川光三郎『蒙求』上下巻(明治書院)に依拠した。				
2) 徐注・箋注・標疏の省略部分は「…」で示した。修正が必要と思われるNo8の標疏の文字は、原文の後に〔 〕で記した。				
3) 徐注は、「1」「2」のように分けて番号を付し、内容が関連する箋注・標疏にも同じ番号を付した。				
4) 徐注には、「帝王世系」と関連する国号を番号の後に()で記した。同じ国号が重複して出てくる場合は、2回目以降の記載は省略した。				
5) 標題No324、345、429、565、591の標疏の網掛けは、「帝王世系」に言及している箇所を示す。				
6) 徐注に同じ人物が複数登場する場合は最初の記載を抜粋したが、文脈および箋注・標疏の関係上必要な場合は、それにとどまらず記載した。				
2	裴楷清通	1 (西晋) 鍾会薦於文帝、2武帝登祚	1 晋文帝、追称也	1 司馬懿子昭、昭子炎、炎即帝位、尊父昭諡文帝、史臣諱名書諡、2武帝司馬炎
3	孔明臥龍	1 (三国蜀) 時先主屯新野	1 劉備	
4	呂望非熊	1 (周) 文王將田、…施及三王	1 文王、武王、成王	
5	楊震関西	1 (後漢) 安帝時為太尉		
6	丁寛易東	1 (前漢) 景帝時為梁孝王將軍		1 孝王、景帝弟
7	謝安高潔	1 (東晋) 時孝武立、政不自己、桓温威振内外、安尽忠匡翼、2苻堅率衆、次淮肥、加安征討大都督	1 政不由帝出	2 苻堅、伯父苻健自立、為秦王、為桓温所敗、其子苻生立、健弟苻雄子苻弑生為秦王、大挙来寇
8	王導公忠	1 (東晋) 元帝為琅邪王、与導素相親善		1 元帝名睿、宣帝懿生琅邪王伧、伧生觀、觀生睿、西晋末劉聰・石勒等並起、稱〔隋〕洛陽、執懷帝、睿時為安東將軍、愍帝立、以睿為丞相、及帝降劉聰、群臣勸睿即位、都建業、是為東晋
9	匡衡鑿壁	1 (前漢) 元帝時為丞相		
11	鄧都蒼鷹	1 (前漢) 景帝時為中郎將		
12	甯成乳虎	1 (前漢) 以郎謁者事景帝、…武帝即位、徙為内史		
14	梁冀跋扈	1 (後漢) 襄親侯竦之曾孫、2冲帝崩、冀立質帝少聰惠知冀驕横、嘗朝群臣目冀曰此跋扈將軍也、冀聞深惡之、遂鳩殺、復立桓帝	2 注、跋扈、猶強梁也	1 梁竦廟食四十五葉、2 鳩毒鳥、以其毛、歷飲食、則殺人、冀加煮餅、進質帝
16	王珣短簿	1 (東晋) 孝武時為僕射領吏部、帝雅好典籍、…時苻堅入寇		
17	伏波標柱	1 (後漢) 建武中、歷虎賁中郎將、…帝嘗言伏波論兵、与我意合		1 建武、光武年号
18	博望尋河	1 (前漢) 建元中為郎、武帝方欲事滅胡		1 建元、武帝年号
19	李陵初詩	1 (前漢) 武帝以為有広之風、拜騎都尉、天漢二年將步卒五千人征匈奴、…後昭帝立、与匈奴和親		1 天漢、武帝年号
20	田橫感歌	1 (前漢) 高帝召之、2至李延年、分為二等、薤露送王公貴人、蒿里送士大夫庶人、挽柩者歌之		1 高帝發卒二千人、以王者礼、2 延年、武帝時人
21	武仲不休	1 (後漢) 肅宗博召文学之士、2明帝功德最盛、而廟頌未立、乃依清廟、作顯宗頌十篇奏之、由是文雅顯於朝廷、3 (三国魏) 魏文帝典論曰		1、2明帝、肅宗之父、2 顯宗、即明帝
22	士衡患多	1 (西晋) 晋陸機字士衡、…与弟雲俱入洛、造太常張華、華素重其名、如旧相識曰伐吳之役、利獲二俊	1 機、雲	1 晋武帝太康元年使杜預・王濬伐吳、吳主皓出降
23	桓譚非讖	1 (後漢) 世祖即位、拜議郎給事中		1 世祖、光武帝
24	王商止訛	1 (前漢) 成帝時為左將軍		
29	胡広補闕	1 (後漢) 安帝以広為天下第一、…及其李固・趙戒・杜喬議立清河王蒜而蠡吾侯志取梁冀妹、冀欲立之、…竟立蠡吾侯是為桓帝、…自在公台三十余年、歷事安・順・冲・質・桓・靈、六帝		1 質帝為梁冀所鳩殺、無嗣、故欲立宗室子

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
30	袁安倚賴	1 (後漢) 肅宗末為司空、…和帝時薨、初安以天子幼弱外戚擅權、每朝會進見及與公卿言國家事、未嘗不噫嗚流涕	1 後漢書注、噫嗚其傷之貌	1 和帝年十歲即位、竇后臨朝、竇憲以外戚用事、有逆謀
31	黃霸政殊	1 (前漢) 武帝末以待詔入錢賞官、…宣帝時擢揚州刺史		
32	梁習治最	1 (三國魏) 太祖嘉之、賜爵關內侯、…文帝時復為刺史		1 太祖亦指操
35	朱博烏集	1 (前漢) 哀帝時、御史府吏舍百余區、井水皆竭、…高皇帝置御史大夫		
37	杜后生齒	1 (東晉) 成恭杜皇后、諱陵陽	1 成恭諡	1 成帝之后、諡恭
38	靈王出髭	1 (東周) 王子朝曰定王六年、秦人降妖曰周其有髭王亦克能修其職、諸侯服享、二世供職、2 至于靈王生而有髭、王甚神聖、無患於諸侯、3 靈王·景王、克終其世	1 杜預曰、靈王、景王之世、諸侯供其職貢、2 定王之孫	1 景王太子早卒、愛子朝、欲立之、會崩、國人立長子猛、是為悼王、子朝攻殺悼王自立、晉人入悼王母弟敬王丐、子朝奔楚告于諸侯、服享謂諸侯服從
39	賈誼忌鵬	1 (前漢) 文帝召為博士、…迺拜誼梁王大傅、死年三十三、2 孔臧鴟賦云、昔賈生有識之士、忌茲鵬鳥		1 梁懷王、文帝第四子、2 孔臧、孔子十二世孫、漢武帝時、為御史大夫
42	鄭莊置馭	1 (前漢) 孝文時、以任俠自喜、…孝景時為太子舍人、…武帝時遷大司農		
43	瓘靖二妙	1 (西晉) 武帝時拜尚書令		
45	郤詵一枝	1 (西晉) 泰始中舉賢良…武帝於東堂會送		1 泰始、武帝年号
46	戴憑重席	1 (前漢) 光武時、拳明經		
47	鄒陽長裾	1 (前漢) 願大王無忽、王不納、陽乃去、從梁孝王、卒為上客	1 無忽臣言	1 本佗王不納下曰、是時景帝少弟梁孝王、貴盛亦待士
51	晉宣狼顧	1 (西晉) 晉宣皇帝諱懿字仲達、…魏武為丞相、…武帝受禪、上尊号曰宣皇帝、2 魏武察帝有雄豪志、聞有狼顧相、欲驗之。乃召使前行、令反顧、面正向後而身不動、又嘗夢三馬同食一槽、甚惡焉、因謂太子丕曰司馬懿非人臣也、必預汝家事、太子素與帝善、每相全佑、故免	2 三馬·象 司馬懿·師·昭、槽曹声同、食一槽、食曹氏之象	1 魏武、曹操、2 天子家天下、故謂奪天下為預家事
52	漢祖竜顏	1 (前漢) 前漢高祖諱邦		1 高祖赤帝子
54	羊祜識環	1 (三國魏～西晉) 魏高貴鄉公時、公車徵、拜中書侍郎、武帝有滅吳之志	1 晉武帝	
57	毛義奉檄	1 (後漢) 章帝下詔、褒寵義		
59	江革巨孝	1 (後漢) 肅宗崇礼之、拜諫議大夫、賜告歸、因謝病		
61	蕭何定律	1 (前漢) 高祖初入關、…高祖即位、論功行封、以何功最盛、先封鄼侯		1 高祖與諸侯約、先入函谷關者王
63	葛豐刺拳	1 (前漢) 元帝擢為司隸校尉		
64	息躬歷詆	1 (前漢) 哀帝擢光祿大夫·給事中		
66	和嶠專車	1 (西晉) 武帝深器遇之		
67	時苗留犢	1 (後漢) 建安中為寿春令		1 建安、後漢獻帝年号
68	羊統懸魚	1 (後漢) 靈帝欲以為太尉、時拜三公者、皆輸東園札錢千万		1 靈帝紀註壳官二千石二千万、四百石四百万
69	樊噲排闥	1 (前漢) 從高祖定天下、以功封舞陽侯…且獨不見趙高之事乎		1 胡亥宦者趙高從始皇崩、高秘不發喪詐為受詔立胡亥秦終亡
70	辛毘引裾	1 (三國魏) 文帝踐阼、遷侍中		
74	充国自贊	1 (前漢) 宣帝時為後將軍、2 神爵初諸羌背叛犯塞、時充国年七十餘、3 成帝時西羌有警、上思將帥之臣、追美充国		2 神爵、宣帝年号、3 扈成帝時、曰初充国
75	王衍風鑑	1 (西晉) 武帝聞其名、2 及石勒寇京師、以衍都督征討諸軍事		2 石勒、漢主劉淵之將、後自称趙王
77	賀循儒宗	1 (東晉) 建武初為中書令		1 建武、東晉元帝年号
80	摯仲辭翰	1 (西晉) 武帝詔會東堂策問、對畢、擢太子舍人		
81	山涛識量	1 (西晉) 武帝時遷吏部尚書		

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
82	毛玠公方	1 (三國魏) 魏太祖為相、玠嘗為東曹掾、…文帝為五官將、親自詣玠、屬所親眷、2時太子未定而臨淄侯植有寵、玠密諫曰近者袁紹以嫡庶不分、覆宗滅國、廢立大事、非所宜聞、後太祖目指曰此古所謂國之司直、我之周昌也	2周昌諫廢太子	1後漢獻帝建安十三年、曹操自為丞相、2周昌漢高帝臣、帝欲立戚姬子如意、昌吃口強諫、帝欣然而笑
83	袁盎卻坐	1 (前漢) 孝文時為中郎將		
84	衛瓘撫牀	1 (西晉) 武帝時遷司空、2惠帝為太子、朝臣咸謂、純質不能親政事、3賈后由是怨之、…惠帝立以瓘錄尚書事、賈后素怨瓘	2惠帝愚弱	2純一之純、假為無才能之稱、3賈充之女惠帝為太子時、為妃名南風
85	于公高門	1 (前漢) 至定國、宣帝時為丞相、封西平侯		
86	曹參趣裝	1 (前漢) 從高祖有功、割符封平陽侯、高祖以長子肥為齊王、以參為相國		
89	范冉生塵	1 (後漢) 桓帝時為萊蕪長、遭母憂、不到官		
91	詰汾興魏	1 (北魏) 北史魏聖武皇帝、諱詰汾、…即始祖神元皇帝也、故時人諺曰詰汾皇帝無婦家、力微皇帝無舅家、力微神元諱		1東晉安帝隆安二年、魏主拓跋珪始即帝位、是為烈祖道武皇帝、聖武·神元其遠祖之追号
93	不疑誣金	1 (前漢) 為郎事文帝、…景帝末為御史大夫		
95	檀卿沐猴	1 (前漢) 宣帝欲罪少府、…又引韓氏易傳言五帝官天下、三王家天下		
97	太初日月	1 (三國魏) 与皇后弟毛曾並坐、2不悅形於色、明帝恨之、左遷羽林監		1明帝后、毛嘉之女
98	季野陽秋	1 (東晉) 康獻皇后父也		1康帝后、諡獻
103	丁公遽戮	1 (前漢) 為項羽將、逐窘高祖彭城西、短兵接高祖急		
104	雍齒先侯	1 (前漢) 前漢高祖居洛陽南宮		
108	會稽霞拳	1 (東晉) 海西時、諸公每朝、朝堂猶暗、唯會稽王來、軒軒如朝霞拳、2會稽王謂道子也	1東晉廢帝奕、降為海西公、2司馬道子也	1、2帝奕、此時未為海西公而在帝位、道子簡文帝子、此時未為會稽王共追称耳
109	季布一諾	1 (前漢) 項籍使將兵、數窘高祖		
110	元瞻三語	1 (西晉) 永嘉中為太子舍人		1永嘉、懷帝年号
113	黃琬對日	1 (後漢) 建和元年正月日食、京師不見、2獻帝初遷大尉、坐免、及徙西都、起為司隸校尉		1建和、桓帝年号、2獻帝初平元年、董卓遷都長安、燒洛陽宮廟
114	秦宓論天	1 (三國蜀) 温復問曰天有頭乎、宓曰有、在西方、詩曰乃眷西顧、以此推之、…温曰天有姓乎、宓曰姓劉、天子姓劉、以此知之、温曰日生於東乎、宓曰雖生於東、而沒於西		1以西顧句為頭在西方、牽強之說、然鼎峙之時、各以其主為正統、故為頭在西蜀而下又曰天子姓劉、張温反之曰日生於東、宓曰沒於西者所謂天下定於一之意
115	孟軻養素	1 (五帝、三代) 而孟軻乃述唐虞三代之德		
116	揚雄草玄	1 (前漢) 哀帝時、丁·傅·董賢用事、…時雄方草太玄、有以自守泊如也		
119	郭槐自屈	1 (西晉) 武帝踐阼、李以赦遷、特詔充置左右夫人、郭槐性妬忌、怒攘袂數充曰刊定律令、為佐命之功、我有其分、…惠帝為太子、納槐女為妃		1武帝迫魏主、即帝位、因改前代律令
120	南康猶憐	1 (東晉) 桓温尚明帝女南康公主、温平蜀、以李勢妹為妾、甚有寵		1惠帝永興元年李雄拋蜀成都、五世至李勢驕淫、永和三年桓温師伐之、勢出降建國、四十四年亡
121	魯恭馴雉	1 (後漢) 肅宗時拜中牟令		
122	宋均去獸	1 (後漢) 光武時遷九江太守		
124	殷師牛鬪	1 (東晉) 孝武帝召為中庶子、甚相親愛		
125	元礼模楷	1 (後漢) 桓帝震怒、逮捕党人、…靈帝時、曹節諷有司、奏捕前党、皆死獄中		
126	季彦領袖	1 (西晉) 武帝時為司空、…以職在地官作禹貢地域圖奏之、藏於秘府		
127	魯褒錢神	1 (西晉) 元康之後綱紀大壞、2 (前漢) 漢高克之於贏二	2高祖微時役咸陽、…以嘗役咸陽荷贏錢二德也	1元康、惠帝年号、惠帝性不慧、賈后預政
128	崔烈銅臭	1 (後漢) 靈帝時開鴻都門、榜壳官爵、2董卓既誅		2董卓廢靈帝子弁、立陳留王、是為獻帝

No.	標題	徐注	箋注	標疏
129	梁竦廟食	1 (後漢) 肅宗納其二女、皆為貴人、小貴人生和帝、竦皇后養以為子、諸竦恐梁氏得志為己害、遂譖殺二貴人而陷竦以惡逆死獄中、和帝立追封褒親愍侯		1 和帝立為太子梁氏私相慶、諸竦聞之恐梁氏得志終為己害譖殺貴人、作飛書陷竦
130	趙溫雄飛	1 (後漢) 獻帝西遷、遂為三公		
131	枚乘蒲輪	1 (前漢) 景帝召拜弘農都尉、…武帝即位、乘年老適以安車蒲輪徵乘道死		
132	鄭均白衣	1 (後漢) 肅宗重之、…勅賜尚書祿、以終其身、時号为白衣尚書		
133	陵母伏劍	1 (前漢) 高祖起、陵亦聚党数千人		
137	鑿齒尺牘	1 (西晉) 荊州刺史桓溫辟為從事、…時溫覬覦非望、鑿齒在郡、著漢晉春秋、以裁正之、起漢光武、終晉愍帝	1 覬覦、欲得也、非望、帝位也	1 裁正溫不臣之心、微孔子春秋亂臣賊子懼之微意
138	荀勗音律	1 (西晉) 武帝受禪、拜中書監、加侍中、領著作		
139	胡威推轂	1 (西晉) 武帝謂曰、卿孰與父清		
140	陸績懷橘	1 (三国吳) 孫權辟為掾		
145	蔣謬三逕	1 (前漢) 王莽居攝、以病免、歸鄉里		
147	楊僕移閼	1 (前漢) 武帝時為樓船將軍		
148	杜預建橋	1 (西晉) 尚文帝妹高陸公主、拜尚書郎、武帝時拜度支尚書		
149	壽王讓鼎	1 (周~前漢) 武帝問之。对曰臣聞周德始乎后稷、長於公劉、大於大王、成於文武、顯於周公、德沢上昭天、下漏泉、無所不通、…今漢自高祖繼周、至於陛下、恢廓祖業、…天祚有德而宝鼎自出、迺漢宝、非周宝也。		1 高紀贊曰陶唐氏既衰、其後有劉累、晋范氏其後也、范氏奔秦、復歸于晋、其留者復劉姓、後遷于豊
150	杜林駁堯	1 (後漢) 漢当祀堯、詔下公卿議、議者僉同、光武亦然之		
159	東平為善	1 (後漢) 顯宗同母弟、…肅宗立、恩礼踰於前世		
164	江適燕鷄	1 (東晉) 中軍將軍殷浩請為諮議參軍遷長史、時差及丁零叛、浩軍震懼	1 羌、丁零皆西戎	1 穆帝永和中、中原大乱、殷浩北伐
167	陳平多轍	1 (前漢) 從高祖為護軍中尉、…惠帝時為左丞相、呂后時為右丞相、又相文帝乃薨		
168	李広成蹊	1 (前漢) 武帝時拜右北平太守、…元狩中為前將軍		1 元狩、武帝年号
170	山簡倒載	1 (西晉) 永嘉中為征南將軍		1 永嘉、懷帝年号
173	龔勝不屈	1 (前漢~新) 哀帝時、勝為光祿大夫、王莽秉政、乞骸骨、2 莽後遣使、即拜講學祭酒、称疾不応		1 漢平帝即位、王莽秉政、抱篡弑之心、故乞致仕、2 平帝立五年莽弑帝、攝位三年竟篡位、国号新
174	孫宝自劾	1 (前漢) 平帝時為大司農		
177	董宣彊項	1 (後漢) 光武時為洛陽令		
181	馮衍婦里	1 (新) 王莽時、不肯仕、2 (後漢) 光武懲西京外戚賓客、故皆以法繩之、…顯宗即位、又多短衍以文過其美		
185	震畏四知	1 (後漢) 震安帝時為太尉、為中常侍樊豐所譖而卒		1 安帝時樊豐等及帝乳母王聖聖女伯榮出入宮掖、伝通姦賂、震上疏諫之、樊豐令人譖震怨望、収太尉印綬、震飲鴆而卒
186	秉去三惑	1 (後漢) 桓帝時為太尉、每朝廷有得失、輒尽忠規諫、多見納用		
191	三王尹京	1 (前漢) 成帝欲大用之、出為京兆尹、試以政事		
192	二鮑糾厲	1 (前漢~後漢) 父宣、哀帝時為司隸校尉、為王莽所害、子昱、中元初亦拜司隸校尉、章帝時官至大尉		1 中元、亦光武年号
197	谷永筆札	1 (新) 王莽專政、召為前輝光		
204	孟宗寄鮓	1 (三国吳) 孟仁字恭武、本名宗、…仕孫皓至司空	1 避孫皓字易焉	1 孫皓字元宗

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
205	史丹青蒲	1 (前漢) 元帝即位為侍中、時定陶共王有材芸子母俱愛幸而太子頗有酒色之失、母王皇后無寵、上寢疾、皇后太子皆憂、…伏青蒲上涕泣言曰皇太子以適長立十餘年名号繫於百姓、2天下莫不婦心臣子、見定陶王愛幸、道路流言以為太子有動搖之議、…大感曰皇后謹慎、先帝又愛太子吾豈可違指、…成帝立、累遷左將軍	1 適讀曰嫡、2 師古曰、自託為臣子	1 王莽之姑王皇后生成帝、傅昭儀生共王、上寢疾共王母子常在左右、上又數問尚書以景帝時立膠東王故事、故皇后太子皆憂、2 動搖謂廢太子、議指問尚書事
208	王脩輟社	1 (三國魏) 後太祖破南皮、閱脩家、穀不滿十斛、有書數百卷		1 太祖、曹操、破袁譚於南皮
211	華歆忤旨	1 (三國魏) 文帝受禪、朝臣並受爵位歆以形色忤旨、…明帝時進拜太尉	1 魏文帝	
213	王濬懸刀	1 (西晉) 武帝謀伐吳、詔濬修舟艦		
215	姜維胆斗	1 (三國蜀) 及後主降、維投戈放甲、詣鎮西將軍鐘會	1 後主、劉禪、降于魏、	
216	盧植音鐘	1 (後漢) 靈帝時為尚書		
218	鄧艾大志	1 (三國蜀) 累遷征西將軍、征蜀大破之、劉禪降	1 後主劉禪	
221	杜康造酒	1 (三國魏) 魏武帝樂府短歌行曰慨當以慷、憂思難忘、何以解憂、惟有杜康		
224	辺韶經筵	1 (後漢) 桓帝時拜太中大夫、著作東觀		1 東觀亦曰蓬觀、後漢時圖書在此觀
227	買妻恥醜	1 (前漢) 武帝說之、拜中大夫		
228	沢室犯齋	1 (後漢) 顯宗時為司徒		
229	馬后大練	1 (後漢) 顯宗即位、以為貴人、時賈氏生肅宗、帝命令養之謂、女人未必當自生子		
232	宋弘不諧	1 (後漢) 光武即位、為大司空		
233	鄧通銅山	1 (前漢) 文帝嘗夢、欲上天不能		
234	郭況金穴	1 (後漢) 光武郭皇后弟、…顯宗即位、數受賞賜		
235	秦彭攀轅	1 (後漢) 肅宗幸潁川、輒賞賜錢穀、恩寵甚異		
236	侯霸臥轍	1 (新) 王莽末為淮平太尹、政理有能名、2 (後漢) 光武時為大司徒		
238	彦国吐屑	1 (東晉) 元帝時為湘州刺史		
239	太真玉台	1 (東晉) 成帝時為驃騎將軍始安郡公		
245	逢萌挂冠	1 (新) 時王莽殺其子宇、萌謂友人曰三綱絕矣、2 (後漢) 後光武徵不起	1 莽之子名	
246	胡昭投簪	1 (三國魏) 太祖為相、頻加礼辟		1 曹操為漢丞相
247	王喬双鳧	1 (後漢) 顯宗怪其來數而不見車騎、密令太史伺望之、言其臨至、輒有双鳧、…後天下玉棺於堂前、喬曰天帝獨召我邪、乃沐浴服飾寢其中		1 西上棺自古至今清朝皆臥棺、不與本朝坐棺同、故曰寢其中
250	史籀大篆	1 (周) 昔周宣王時、史籀始著大篆十五篇、2 (秦) 秦時下杜人程邈為衙獄吏、得罪幽繫雲陽十年從獄中作大篆、…奏之始皇始皇善之、出以為御史、使定書		
251	王承魚盜	1 (周) 文王之囿與眾共之、2 (東晉) 渡江為元帝鎮東府從事中郎		
252	丙吉牛喘	1 (前漢) 宣帝時為丞相、…時宣帝生數月、以皇曾孫坐衛太子事繫、吉哀其無辜、捫護厚女徒令保養之、武帝疾望氣者言獄中有天子氣		1 帝生數月、衛太子以下皆遇害、帝襁褓下獄、不知巫蠱、故曰坐衛太子事
253	賈琮褰帷	1 (後漢) 靈帝時為冀州刺史、旧典伝車驂駕垂赤帷裳…乃命御車褰之		
254	郭賀露冕	1 (後漢) 顯宗巡狩到南陽、特見嗟嘆、賜以三公之服黼黻冕旒		
255	馮媛當熊	1 (前漢) 前漢元帝馮昭儀、左將軍奉世女、平帝祖母也		
256	班女辭輦	1 (前漢) 前漢成帝班婕妤越騎校尉況之女、帝游後庭、嘗欲同輦載、辭		
257	王充閱市	1 (後漢) 肅宗詔公車徵不行		
258	董生下帷	1 (前漢) 孝景時為博士、…武帝時拳賢良對策		

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
259	平叔傅粉	1 (三国魏) 平叔美姿、面至白、明帝疑其傅粉		
261	楊宝黄雀	1 (前漢~三国魏) 宝哀帝世、隱居教授、王莽徵之、遂逃遁、光武高其節、公車特徵不到、子震安帝時為太尉、震子秉桓帝時為太尉、秉子賜靈帝時為太尉、賜子彪獻帝時為太尉、魏文帝時復為太尉、震至彪四世太尉、德業相繼		1 哀帝、平帝
265	韋賢滿籛	1 (前漢) 宣帝時為丞相、…玄成相元帝十年、守正持重、不及父		
266	夏侯拾芥	1 (前漢) 宣帝時遷太子太傅		
269	蘇武持節	1 (前漢) 武帝時、以中郎將持節使匈奴、单于欲降之、馮幽武置大窖中、絕不飲食、…昭帝立、匈奴与漢和親、漢求武等、匈奴詭言武死、…至宣帝時、以武著節老臣、令朝朔望、号称祭酒		
270	鄭衆不拜	1 (後漢) 永平初以明經給事中、八年遣衆持節使匈奴		1 永平、明帝年号
276	温舒截蒲	1 (前漢) 宣帝時遷臨淮太守、治有異迹		
277	伯道無兒	1 (西晋~後趙~東晋) 為河東太守没于石勒、…天道無知使鄧伯道無兒		
278	嵇紹不孤	1 (西晋) 及惠帝蒙塵、馳詣行在所、2 (東晋) 元帝表贈太尉		
280	文君当壚	1 (前漢) 蜀人楊得意為狗監、侍武帝、帝誦子虛賦而善之曰朕独不得与此人同時哉。得意曰臣邑人司馬相如自言、為此賦、上驚、召問以為郎		
281	伊尹負鼎	1 (三代殷) 伊尹欲干湯而無由、乃為有莘氏媵臣、負鼎俎、以滋味說湯、致於王道	1 注湯娶有莘氏、從嫁臣曰媵臣	
282	甯戚扣角	1 (五帝) 高歌曰南山矸、白石爛、生不遭堯与舜禪、短布单衣適至軒		
284	顏驄蹇剝	1 (前漢) 漢武故事曰上至郎署舍、見一老郎鬚眉皓白、…文帝時為郎、文帝好文而臣好武、景帝好老而臣尚少、陛下好少而臣已老、是以三葉不遇也	1 三葉、三世也	
285	龔遂劭農	1 (前漢) 宣帝時、渤海左右郡歲饑、盜賊並起		
286	文翁興学	1 (前漢) 景帝末為蜀郡守、…武帝乃令天下郡国皆立学校、自文翁始		
288	五鹿嶽嶽	1 (前漢) 自宣帝時、善梁丘氏說、元帝好之、欲考其異同		
289	蕭朱結綬	1 (前漢) 哀帝時為光祿大夫執金吾、…故長安語曰蕭朱結綬		
290	王貢彈冠	1 (前漢) 宣帝時為諫大夫、与同郡貢禹為友、世称王陽在位貢公彈冠		
291	龐統展驥	1 (三国蜀) 亮主領荊州、統以從事守耒陽令、…親待重於亮		
293	諸葛顧廬	1 (三国蜀) 諸葛亮相先主、先主病篤、召亮属以後事、謂曰君才十倍曹丕、2 若嗣子可輔輔之、如其不才君可自取、亮涕泣、3 嘗上疏其略曰臣本布衣、躬耕於南陽、4 (西晋) 与司馬宣王對於渭南	1 文帝、4 仲達	2 嗣子、後主劉禪、3 先主崩後、上疏於後主
294	韓信升壇	1 (前漢) 後封楚王、都下邳、謀反、赦為淮陰侯、卒為吕后所斬		
295	王裒柏慘	1 (西晋) 其父儀為文帝司馬見殺、裒痛父非命、…攀柏悲号、涕淚著樹		
298	蔡倫造紙	1 (後漢) 和帝時轉中常侍、…用樹膚麻頭及敝布魚網以為紙、奏上之、帝善其能		
300	祭遵布被	1 (後漢) 從光武平河北拜征虜將軍、…賞賜尽与士卒、…身衣韋袴布被		1 更始元年、令劉秀北渡河、鎮慰州郡
301	周公握髮	1 (周) 武王崩、周公相成王、…我文王之子、武王之弟、成王之叔父		
302	蔡邕倒屣	1 (後漢) 獻帝西遷、王粲徙長安、邕見而奇之、…聞粲在門、倒屣迎之	1 遷都於長安	

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
303	王敦傾室	1 (西晉~東晉) 尚武帝女襄城公主、拜駙馬都尉、明帝初移鎮姑熟		
305	暴勝持斧	1 (前漢) 武帝末、郡國盜賊群起勝之為直指使者、衣繡衣持斧逐捕盜賊		
306	張綱埋輪	1 (後漢) 時順帝委縱宦官、有識危心、…而綱獨埋其車輪於洛陽都亭		
307	靈運曲笠	1 (南朝宋) 靈運詩書皆兼獨絕、每文竟手自寫之、宋文帝稱為二宝		
313	京房推律	1 (前漢) 好鐘律、知音聲、孝元時以孝廉為郎、…不欲遠離左右		1 不欲離元帝左右
314	翼奉觀性	1 (前漢) 好律歷陰陽之占、元帝即位、徵之…、觀性以歷、觀情以律		
315	甘寧奢侈	1 (三国吳) 仕孫權、2 (三国魏) 曹公出濡須		
316	陸凱貴盛	1 (三国吳) 孫皓時為丞相、…今政荒民弊、覆亡是懼、臣何敢言盛		
319	元凱佞癖	1 (西晉) 武帝聞之謂曰卿有何癖、对曰臣有左佞癖、終司隸校尉		
320	伯英草聖	1 (後漢) 章帝時、齊相杜度号善作篇…世尤宝其書、章仲將謂之草聖	1 後漢章帝	1 韋誕字仲將、魏明帝使登梯題殿榜
321	馮異大樹	1 (後漢) 漢兵起以郡掾、守父城、光武為司隸、2 光武自薊東南馳		1 王莽末光武与兄劉縯起兵、諸將立劉玄為帝、号漢兵、光武屬之、為司隸校尉、2 光武至薊会王子接、起兵薊中扈王郎
322	千秋小車	1 (前漢) 会衛太子為江充所譖敗、久之武帝頗知太子冤、千秋上急变		
324	孫鍾設瓜	1 (三国吳) 鍾後生堅、堅生權、權生亮及和·休、和生皓、為晉所滅		1 權為吳太帝、亮嗣權廢為会稽王、休立、是為景帝殂、和子皓嗣、見世系
327	劉玄刮席	1 (後漢) 光武族兄、2 (新) 王莽末、平林陳牧等聚眾、号平林兵、聖公往從之、及破莽軍号聖公為更始將軍…漢兵誅王莽佞首詣宛懸於市	1 族父之子、相謂為族昆弟	2 更始元年八月遣將攻武關、鄧曄應漢兵、開關迎之、九月三日斬莽首
328	晋惠聞蟻	1 (西晉) 晋惠帝初為太子、朝廷咸知不堪政事、武帝亦疑焉		
329	伊籍一拜	1 (三国蜀·吳) 先主以為左將軍從事·中郎遣使吳、孫權聞其才弁欲逆折以辭		
332	應璩三入	1 (三国魏) 魏明帝世、歷散騎常侍		
335	虞延刻期	1 (新) 王莽末、天下大乱		
339	阮孚蠟屐	1 (東晉) 元帝以為安東參軍		
340	祖約好財	1 (東晉) 予州刺史逖之子、蘇峻尅京師、矯詔、以為侍中為石勒所殺		1 明帝時、王敦犯關、歷陽内史蘇峻入衛有功、至成帝時、拳兵反進犯關
343	武陵桃源	1 (東晉) 晋太元中、武陵人捕魚緣溪行、忘路之遠近、忽逢桃花林		1 太元、孝武年号、代醉編為武帝太康年中事、相距九十年余漁人名曰黃道真
344	劉阮天台	1 (後漢) 漢明帝永平中、剡县有劉晨·阮肇、入天台山採藥、迷失道路		
345	王儉墜車	1 (南朝宋) 超宗曰不能壳袁劉得富貴焉、免寒士、2 宋明帝遷吏部尚書、3 (南朝齊) 後為尚書令、婦心齊高帝	1 袁粲·劉秉·褚淵同受宋顧命、輔幼主、3 道成	1 幼主、世系所載帝昱、3 道成弑昱及順帝、篡位
347	季倫錦障	1 (西晉) 崇塗屋以椒、愷用赤石脂、武帝每助愷、嘗以珊瑚樹賜之		
349	甄后出拜	1 (三国魏) 文昭甄皇后、漢太保甄邯後、袁紹為中子熙納之、熙出為幽州、后留養姑、及冀州平、文帝納后於鄴、…文帝就視、見其顏色非凡、称嘆之、太祖聞其意、遂為迎取	1 魏文帝后	
351	胡嬪争構	1 (西晉) 武帝多簡良家女以充内職、…平吳後、復納孫皓宮人數千		
352	晋武傷指	1 (西晉) 帝嘗与之構蒲、争失、遂傷上指		

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
353	石慶數馬	1 (前漢) 石奮趙人、孝文時、官至大中大夫、…景帝曰石君及四子皆二千石、人臣尊寵、…慶武帝時為太僕		
354	孔光溫樹	1 (前漢～新) 哀帝立拜丞相、及王莽權盛稱宰衡、光固辭位		1 平帝如莽、為宰衡、註曰周公為太宰、伊尹為阿衡、故采此号、以尊之
355	翟湯隱操	1 (東晉) 孝武時以散騎郎徵不至、世有隱行云		1 晋孝武、簡文帝子
357	優旃滑稽	1 (秦) 秦始皇時、置酒而天雨、陞楯者皆沾寒、…二世立、又欲漆其城		
364	臨江折軸	1 (前漢) 景帝子、立為太子、廢為臨江王		
365	樊巴噴酒	1 (後漢) 漢帝召為尚書		1 後漢順帝
366	偃師舞木	1 (三代周) 周穆王西巡狩		
367	德潤備書	1 (三国吳) 仕孫權為中書令·侍中·太子太傅		
371	衛后髮鬢	1 (前漢) 衛后前漢孝武帝皇后也		
372	飛燕体輕	1 (前漢) 前漢飛燕、孝成帝趙皇后也、本長安宮人、初生父母不舉、三日不死、遂取養之、及壯屬陽阿主家学歌舞、号曰飛燕、帝嘗微行出、過主、作樂、見而說之、召入宮、大幸、女弟復入、俱為婕妤、貴傾後宮、立為皇后、後寵少衰而弟絕幸、為昭儀、姊弟顯寵十余年、皆無子、2及帝暴崩、民間婦罪昭儀、昭儀自殺、哀帝立、尊后為皇太后	2 哀帝為太子、頗得趙后力故也	1 本伝皆無子下曰末年定陶王来朝王祖母傅太后私賂趙后、定陶王竟為太子、明年帝暴崩、帝素強無疾、晨欲起因失衣不能言、茅坤曰帝暴崩必以多慾也、昭儀焉得有殺
374	劉伶解醒	1 (西晉) 太始初对策、盛言無為之化		1 太始、武帝年号
377	惡来多力	1 (三代殷·周) 武王伐紂、并殺惡来		
381	張憑理窟	1 (東晉) 遂言之於簡文帝、帝召与語、嘆曰張憑勃舉、為理窟		
383	仲宣独步	1 (三国魏) 婦太祖、累拜侍中		1 婦曹操
384	子建八斗	1 (三国魏) 太祖嘗視其文曰汝倩人邪、植曰言出為論、下筆成章、奈何倩人、…文帝即位、累封陳王		1 兄文帝丕未即位、時称東阿王、太和六年二月封陳四畝、為陳王、思諡
385	広漢鉤距	1 (前漢) 宣帝惡之、下広漢廷尉獄		
386	弘羊心計	1 (前漢) 武帝時、以心計用事、年十三為侍中、与大農丞東郭咸陽·孔僅三人者、言利事析秋毫、拜御史大夫、昭帝時、謀反伏誅	1 心計不用籌算	1 不用籌算、師古說叵從、謂巧為貨殖聚斂之計耳
387	衛青拜幕	1 (前漢) 平陽曹壽尚武帝姊陽信長公主		
389	酈寄壳友	1 (前漢) 丞相商之子、与呂祿善、及高后崩、大臣欲誅諸呂		1 呂祿、呂后兒子
391	濟叔不癡	1 (西晉) 武帝亦以湛為癡		
394	蘇章負笈	1 (新) 去官不仕於王莽		
395	南風擲孕	1 (西晉) 晋惠帝賈皇后名南風、父充位三公、初武帝欲為太子取衛瓘女曰衛公女有五可賈公女有五不可…、元后固請、荀勗荀勗並称充女之美乃定婚南風妬忌多權詐、…及立為皇后遂荒淫放恣、…初誅楊駿及汝南王亮、太保衛瓘、楚王瑋等、皆臨機專斷天下咸怨、2及太子廢、趙王倫等、因衆怒謀廢后	1 元后、武帝皇后楊氏、2 惠帝太子適、母謝氏、賈后廢之	1 楊皇后父楊駿為太尉、抑賈后威權、賈后構以謀反殺之、廢楊太后為庶人、亮宣帝第四子、瑋武帝第五子
396	商受斲涉	1 (三代殷) 商王受斲朝涉之脛、剖賢人之心	1 比干忠諫、紂怒	
397	広徳從橋	1 (前漢) 元帝酎祭宗廟、出便門、欲御樓船		1 獻八月新熟酒而祭曰酎
398	君章拒獵	1 (後漢～新) 王莽時、寇賊群發、2 (三代周) 昔文王不敢繫于游田	2 繫、樂也	2 文王云云、尚書無逸文
400	安世三篋	1 (前漢) 武帝幸河東、嘗亡書三篋、詔問、莫能知、唯安世識之、…昭帝立、為右將軍·光祿勳、封富平侯、事武帝三十余年、…宣帝時為大司馬·車騎將軍		
401	相如題柱	1 (前漢) 事景帝、為武騎常侍、非其好也、病免、…久之武帝召以為郎		
402	終軍棄繻	1 (前漢) 年十八、武帝選為博士、…及為謁者、使行郡国、建節東出関		1 武帝異其文、拜為謁者
406	鍾離委珠	1 (後漢) 顯宗徵為尚書		

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
408	徐穉置芻	1 (後漢) 桓帝時、陳蕃·胡廣上疏薦之、備禮徵不至		
409	朱雲折檻	1 (前漢) 為槐里令、坐廢錮、成帝時、張禹以帝師位特進、甚尊重、雲上書求見	1 廢錮、禁錮也	1 雲數上疏言丞相韋玄成不任職、玄成遂構成雲罪、下獄、終元帝世廢錮
410	申屠斷鞅	1 (前漢~新) 平帝時、拳賢良方正對策、王莽令元后下詔罷歸、2 (後漢) 光武嘗欲出游、剛以隴蜀未平、不宜宴安逸予	1 王莽惡害對策文	1 元帝之后、王莽之姑
414	倉舒称象	1 (三國魏·吳) 武帝子、少聰察岐嶷、…時孫權曾致巨象、太祖欲知其斤重、訪之群下、莫能出其理、沖曰置象大船之上、而刻其水痕所至		
422	陰方祀竈	1 (前漢~後漢) 顯宗時、拜執金吾位特進、…宣帝時、陰子方者至孝有仁恩		
428	張顛墮鵠	1 (後漢) 漢靈帝時為太尉		
429	田子儉素	1 (三國魏) 齊王時領并州刺史、2 (西晉) 司馬宣王以為子克壯		1 齊王芳見世系、2 晉宣數見
430	李恂清約	1 (後漢) 肅宗嘉之、拜兗州刺史		
431	義縱攻剽	1 (前漢) 縱有姊以医幸王太后、上拜縱為中郎	1 武帝母	1 上指武帝
432	周陽暴虐	1 (前漢) 景帝時為郡守、武帝立、由居二千石中、最為暴酷驕恣		
433	孟陽擲瓦	1 (西晉) 武帝遣使、鑄之於劍閣山焉、仕至中書侍郎		
442	黃香扇枕	1 (後漢) 暑則扇床枕、寒則以身温席、和帝嘉之、特加異賜		
443	王祥守柩	1 (西晉) 乃應召、拳秀才、累遷太尉、武帝時拜太保		1 仕魏遷太尉、晉武時拜太保
444	蔡順分椹	1 (新) 王莽末、天下大荒、順拾椹、赤黑異器盛之		
445	淮南食時	1 (前漢) 前漢淮南王安、高祖之孫、…時武帝好芸文、以安屬為諸父、弁博善為文辭、甚尊重之		高祖—— 惠帝 文帝—景帝—武帝 厲王長—安
447	劉惔傾釀	1 (東晉) 康帝時為中書監·錄尚書事、充能飲酒、…令人欲傾家釀		
449	女媧補天	1 (三皇) 於是女媧鍊五色石、以補蒼天、斷鼈足、以立四極、殺黑龍、以濟冀州、積蘆灰、以止淫水	1 羅泌曰、以女媧為伏羲之女弟、又以為顓頊之母、皆因女字、以為婦人與、蓋從漢呂后、唐則天而成其說耳	
451	季珪士首	1 (三國魏) 甚有威重、朝士瞻望、太祖亦敬憚焉、明帝時、崔林嘗與陳群論冀州人士、称琰為首		
454	賈詡非次	1 (三國魏) 文帝時為太尉、…武帝問勳、答曰三公具瞻所歸、不可用非其次、昔魏文帝用賈詡、孫權笑之	1 文帝以因前詡之對太祖定其位、德敏瞻、愛之欲以為嗣問詡、詡默不對、魏主問其故、詡曰、屬有所思故不即對耳、曰何思、詡曰思袁本初·劉景升父子耳	1 文帝為五官將時魏主以曹植才藻
460	庾敳墮幘	1 (後趙) 後石勒亂被害		
462	張華台坼	1 (西晉) 武帝嘗問漢宮室制度、應對如流、…惠帝時拜中書監		
465	寇恂借一	1 (後漢) 光武拜恂河內太守、行大將軍事、謂曰昔高祖留蕭何鎮關中、今吾委公以河內、堅守轉運、給足軍糧、率厲士馬、防遏它兵、勿令北度而已		1 此時光武將自徇燕趙、擊尤來·大槍等諸賊、故曰勿令北度
466	何武去思	1 (前漢) 成帝時累進大司空、…王莽為宰衡、陰誅不附己者		
468	梁鴻五噫	1 (後漢) 肅宗聞而非之、求鴻不得、乃易姓名、居齊魯之間、遂至吳		
478	亮陟隔坐	1 (三國吳) 吳主孫休時、其父亮為尚書而陟為中書令、每朝會詔以屏風隔其坐		1 孫休、吳景帝

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
479	趙倫癩怪	1 (西晉) 宣帝第九子、拜車騎將軍、…倫目上有瘤、時以為妖、惠帝復位賜死		
480	梁孝牛禍	1 (前漢) 前漢梁孝王武、文帝子、景帝初入朝、是時上未置太子。		1 景帝、孝王之兄
481	桓典避馬	1 (後漢) 獻帝時為光祿勳		
483	鼂錯峭直	1 (前漢) 孝文時拳賢良、對策高第、遷中大夫、孝景時為御史大夫		
484	趙禹廉裾	1 (前漢) 武帝時以刀筆吏積勞、遷御史、至中大夫		
485	亮遺巾幘	1 (三國魏~西晉) 天子遣護軍秦朗、督步騎二萬、2 受宣帝節度、朝廷以亮遠寇、利在急戰、每命帝持重、以候其變	1 魏明帝、2 宣帝、司馬懿	2 命帝之帝、亦指懿、下同
486	備失匕箸	1 (三國蜀) 先主劉備字玄德、涿郡涿隰人、漢中山靖王勝之後、2 (後漢) 靈帝末黃巾起、州郡各舉義兵、先主率其屬		1 靖王孝景帝之子、孝景前三年為中山王、2 靈帝中平元年鉅鹿張角舉兵、其軍三十六萬、皆著黃巾
489	魏儲南館	1 (三國魏) 魏文帝諱丕、字子桓、為太子時、嘗與元城令吳質書、…質字季重、濟陰人、以文才為文帝所善		
490	漢相東閣	1 (前漢) 武帝立、時弘年六十、以賢良徵、為博士		
491	楚元置醴	1 (前漢) 高祖少弟、好書多材藝		
492	陳蕃下榻	1 (後漢) 靈帝初為太傅·錄尚書事、與大將軍竇武謀誅中官、事泄見害		
494	王霸水合	1 (後漢) 從光武為功曹令史、…及王郎起、光武在薊、即南馳、聞郎兵在後、從者皆恐、至滹沱河、候吏還白、河水流澌、無船不可濟、令霸往視、霸恐驚衆、欲且前阻水、還即詭曰水堅可渡、官屬皆喜、光武笑曰候吏果妄語		1 光武恐衆心沮喪、陽為疑候吏之言、再令霸往視、故曰候吏果妄語
495	孔融坐滿	1 (三國魏) 曹操既積嫌忌而都慮構成其罪、遂見害、魏文帝意好融文辭、每嘆曰揚·班儔也		
496	鄭崇門雜	1 (前漢) 哀帝擢為尚書僕射		
497	張堪折轅	1 (後漢) 世祖即位、拜蜀郡太守		1 世祖、光武
499	郭伋竹馬	1 (新~後漢) 王莽時為并州牧、建武中復為牧		
500	劉寬蒲鞭	1 (後漢) 桓帝時遷南陽太守、…靈帝時為太尉		
501	許史侯盛	1 (前漢) 前漢宣帝許皇后、元帝母也、…宣帝以延壽為大司馬·車騎將軍輔政、元帝立、復封延壽中子嘉為平恩侯、…武帝衛太子史良娣宣帝祖母也		
502	韋平相延	1 (前漢) 哀帝時為丞相、上召欲封當、當病篤不応召		1 哀帝時、改丞相為大司徒
505	王允千里	1 (後漢) 獻帝時為司徒		
512	耿恭拜井	1 (後漢) 時肅宗用司徒鮑昱議、遣軍迎恭歸		
513	汲黯開會	1 (前漢) 孝景時為太子洗馬、以蔽見憚、武帝即位、黯為謁者		
516	何曾食万	1 (西晉) 武帝踐祚、拜太尉		
517	顧榮錫炙	1 (東晉) 元帝時終散騎常侍		
519	稚珪蛙鳴	1 (南朝齊) 齊明帝時為南郡太守		
520	彥倫鶴怨	1 (南朝宋) 宋元徽中為剡令		1 元徽、帝昱年号
524	申嘉私謁	1 (前漢) 從高帝擊楚、孝文時稍遷至丞相		
527	子房取履	1 (前漢) 後從高帝過濟北、果得黄石、…初良數以兵法說高祖、常用其策、為他人言、皆不省、良以為天授、遂從不去		1 以高祖為天授、詳說引運命論曰張良說於群雄如以水投石、莫之受也、及其遭漢祖也、其言如以石投水、莫之逆也
528	枳之結轆	1 (前漢) 以貨為騎郎、事文帝		
530	祖逖誓江	1 (東晉) 元帝以為軍諮祭酒		
533	婁敬和親	1 (前漢) 前漢高祖在洛陽		
537	王陽囊衣	1 (前漢) 子駿·孫崇並至御史大夫、崇平帝時為大司空		

No.	標 題	徐 注	箋 注	標 疏
540	五倫十起	1 (後漢) 建武·永平間、為会稽·蜀郡太守、肅宗初立、擢司空		
542	謝鯤折齒	1 (東晉) 明帝在東宮見之、甚相親重		
545	宗資主諾	1 (後漢) 後漢桓帝受學於甘陵周福		
547	伯成辭耕	1 (五帝~三代夏) 堯治天下、伯成子高立為諸侯、堯授舜、舜授禹、伯成子高辭為諸侯耕		
548	嚴陵去釣	1 (後漢) 少与光武同遊學、光武即位、乃變名姓、隱身不見、2 (五帝) 熟視曰昔唐堯著德、巢父洗耳、士故有志、何至相迫乎		
549	董遇三余	1 (三國魏) 明帝時官至大司農		
550	譙周獨笑	1 (三國蜀) 後主使群臣會議、…乃上疏諫、遂從周策、2 劉氏無虞、一邦蒙賴周之謀也、3 (西晉) 時晉文王為魏相國、以周有全國之功、封陽城亭侯	3 文王、司馬昭也	1 上疏、勸出降、2 無虞謂後主受魏封、為安樂公
551	將閭仰天	1 (秦) 秦公子將閭昆弟三人、二世胡亥信趙高之謀、囚於內宮、議其罪		1 二世与趙高謀曰、大臣不服、官吏尚強、及諸公子必与我爭、為之奈何
552	王凌呼廟	1 (西晉) 司馬宣王知其計不聽	1 宣王、司馬仲達也	
553	二疏散金	1 (前漢) 宣帝時、广为太子太傅、受為少傅		
554	陸賈分橐	1 (前漢) 高祖使賈賜佗印為南越王、…高帝大說、拜太中大夫、孝惠時病免、…及誅呂氏立孝文、賈頗有力、以壽終		
558	子雲投閣	1 (前漢) 哀帝之初、又与董賢同官、当成·哀·平間、莽·賢皆為三公、權傾人主、所薦莫不拔擢、而雄三世不徙官、2 (新) 莽篡位、談說之士用符命称功德、獲封爵甚衆		1 成帝·哀帝·平帝三世、2 前輝光謝囂奏、武功長孟通浚井得白石、有丹書著石曰告安漢公莽為皇帝、符命始自此
559	魏舒堂堂	1 (西晉) 軫相國參軍、文帝深器重之、每朝会罷目送之曰魏舒堂堂		1 晉文帝為魏相國時、魏舒為參軍
565	苻朗皂白	1 (前秦) 苻朗字元達、略陽臨渭氏人、堅從兄子		1 苻堅、前秦主、見世系及上卷三藥
567	周勃織薄	1 (前漢) 高祖起、勃以中涓從攻戰、…高帝以為可属大事		1 属大事付託崩後事也、後果誅諸呂立文帝
568	灌嬰販繪	1 (前漢) 以中涓從高祖、…文帝時為丞相		
569	馬良白眉	1 (三國蜀) 先主称尊号、以良為侍中、…蛮夷渠帥皆受印号、咸如意指		1 如先主意指
573	陳遺飯感	1 (南朝宋) 宋初吳郡陳遺、少為郡吏、…後孫恩乱、聚得数升、常帶自隨、及敗逃竄、多有餓死、遺以此得活		1 東晉安帝不慧、会稽王道子輔政、後委世子元顯朝政大乱、東土囂然、孫秀之族孫恩、因民心騷動、自海島出作乱、宋高祖劉裕因討恩有功而起
576	東暫竹簡	1 (西晉) 武帝以其書付秘書、2 (後漢) 暫曰此漢明帝顯節陵中策文也		2 顯節陵、明帝陵名
577	曼倩三冬	1 (前漢) 武帝举方正·賢良·文学·材力之士、待以不次之位		
578	陳思七步	1 (三國魏) 魏文帝嘗令東阿王七步作詩、不成当行法		2 煮豆比文帝忘同胞之親將殺已
580	廉范五袴	1 (後漢) 肅宗時遷蜀郡太守		
581	汜毓字孤	1 (西晉) 武帝累召不就		
582	郗鑑吐哺	1 (東晉) 成帝時為太尉、初值永嘉喪乱、在鄉里甚窮餒		1 晉懷帝永嘉五年、永嘉五年石勒之乱
591	鮑照篇翰	1 (南朝宋) 文帝以為中書舍人		1 宋文帝見世系
592	陳琳書檄	1 (三國魏) 袁氏敗、婦太祖、太祖愛其才、並以琳·瑀為司空軍謀祭酒管記室…魏文帝与吳質書曰孔璋章表殊健、微為繁富		1 魏太祖為漢司空、時以琳瑀為属官、記室書記之官

